

# 検査関係事務の効率化の御意見への対応

未定稿

資料 2

要望のあった事項	検討方向
<p><b>○ 検査結果報告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報告期日の延長</li> <li>・ 水分含有率の検査結果報告の廃止</li> </ul>	<p>⇒ 延長する方向で検討する。</p> <p>⇒ 廃止する方向で検討する。</p>
<p><b>○ 検査場所の追加</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検査場所の追加には業務規程の変更が必要</li> </ul>	<p>⇒ 生産者の庭先など臨時の検査場所を追加する場合は、業務規程の変更を必要としないよう運用改善について検討する。</p>
<p><b>○ 銘柄設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農協等が大量に作る方針を示さないと設定できない。</li> <li>・ 現在は新品種が無制限に増えている。</li> </ul>	<p>⇒ 大量に作らなくても設定可能。産地品種銘柄の設定要件を改めて周知する。</p> <p>⇒ 米に対する多様なニーズを踏まえ、様々な品種が育成されており、産地品種銘柄も増加している状況。品種を制限する等の対応は難しいところであるが、今後の産地品種銘柄の設定の状況を踏まえ、検査現場での負担軽減等の観点から、どのような対応が可能か検討する。</p>
<p><b>○ 生産者の生産関連情報の確認</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作付証明の際に、共済組合の水稲共済野帳にて作付状況を確認</li> </ul>	<p>⇒ 作付状況の確認は、共済野帳や営農計画書等を用いて確認が行われていると認識しているが、検査現場から話をよく聴いて、効率化に向けてどのような対応が可能か検討する。</p>
<p><b>○ 農産物検査請求の委任状</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検査請求の委任状は、事前に検査数量以上の申込数量を記載する必要</li> </ul>	<p>⇒ 検査実績で生産者毎の数量は把握できるので、委任状での数量の記載は不要とする方向で検討する。</p>

要望のあった事項	検討方向
<p><b>○ 検査請求受付簿</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>検査請求受付簿は監督に便利のように作るだけで業務には必要ない</li> </ul>	<p>⇒ 検査請求受付簿については、国が作成を位置付けているものではなく、各登録検査機関が作成する業務規程において作成することとしている。 このため、登録検査機関が不要と判断するのであれば作成しなくても差し支えないことについて改めて周知する。</p>
<p><b>○ 飼料用米の検査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>飼料用米検査に関し、補助金額確定のための数量確認は農産物検査以外の方法で行うべき。 (ばら検査の場合は、手よりによる分析が必要であり時間がかかる)</li> </ul>	<p>⇒ ばら検査の場合の手よりによる分析については、目視のみでは判定しがたい場合に、手よりなどで分析するとの手順を定めており、必ずしも手よりによる分析を行う必要はない。 このことについて、改めて周知を行った上で、検査現場の御意見をよく聴きながら、必要に応じ対応を検討する。</p>
<p><b>○ カントリーエレベーター等における検査の効率化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カントリーエレベーター等における紙袋検査について、フレコンと同一の調整ロットであれば、ばら検査の結果をもって証明できるようにすべき</li> <li>個人調製フレコンの検査を、検査請求毎にばら検査を行うのではなく、個体検査に準じた方法に見直すべき</li> </ul>	<p>⇒ 御意見を踏まえ、効率的な検査方法について検討する。</p> <p>⇒ 具体的な内容について御意見をよく聴きながら、効率的な検査方法について検討する。</p>

※ 今回要望のあった事項については、早急に検討を進め、できるだけ31年産に間に合うように見直す。

さらに、農産物検査の国への報告については、行政手続等のオンライン化の中で、現在検討が進められている共通申請サービス（仮称）を活用して、業務負担を軽減するとともに、併せて、農産物検査機関に求めている国への報告書類等の大幅な削減について検討していく。